

2023 年 4 月 17 日

特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

本年度も、IT コーディネータ協会表彰（以降、ITCA 表彰）にて DX 認定部門の表彰を実施する。具体的には 2023 年 11 月 17 日～18 日に予定している ITC カンファレンスにおいて、パートナーシップよく DX 推進態勢を構築している経営者と ITC をともに表彰する。

これまで通り審査／応募要項は、本表彰の申請プロセスを通じて、情報処理の促進に関する法律第三十一条に基づく認定企業（DX 認定企業）を目指せるよう設定した。ITC 各位におかれては、本表彰をきっかけに DX 認定企業が輩出されるように努めていただければ幸いである。

1. 本表彰制度の基本的な考え方

- a. ITC は、経営者に対する伴走型支援者として、中小企業の経営者が IT を真に経営の力として活かしてお客様にこれまで以上の価値を提供し、発展することを心から願って支援を行っている。
- b. 私達の目指すところは、まさしく経済産業省（以降、経産省）が提唱する DX の考え方「データやデジタル技術を使って顧客視点で新たな価値を創出すること」（経産省 DX 推進指標サマリー）に合致するものである。DX の流れのなかで、ITC の活動は中小企業の「デジタル技術を使った変革」を支援するものだと言い換えることもできる。
- c. とすれば、本表彰への応募に向けての経営者と ITC との対話が DX 認定企業の輩出に繋がるようにして、中小企業の DX を促していくことは私達 ITC の務めともいえる。本表彰をきっかけに、ITC が経営者とともに中小企業の DX の機運を盛り上げ、日本を元気にしていきたい。
- e. 上記の趣旨を踏まえ、本表彰の審査基準は基本的に経産省および独立行政法人情報処理推進機構（IPA）が定めた「DX 認定制度 申請要項」に基づくものとする。
- f. なお、経産省および IPA の「DX 認定制度 申請要項」は、経産省のデジタルガバナンス・コードに基づくものであるが、デジタルガバナンス・コードが従来の IT 経営力大賞等の基準と大きく異なるのは次の 3 点である。この点をよくご認識のうえ、経営者と対話を深めて応募していただきたい。

- ① 成果を急ぐのではなく、むしろ継続して成果を出していけるように、しっかりした推進体制をつくることが重要。そのためには人材の確保、外部との連携も強化すべきである。
- ② 推進体制をつくる上で、広くステークホルダー（顧客、株主、取引先、従業員など）を巻き込んだ体制をつくるべきである。そのためには経営者はビジョン・戦略およびその進捗状況について広く発信していく必要がある
- ③ 経営者は事業部門や IT 部門とも連携し、IT やデジタル技術の動向や自社のシステムの現状を踏まえた課題を把握・分析し、戦略の見直しに反映すべきである。

2. 表彰対象

DX を推進し、DX 認定制度の認定を目指すことのできるレベルに態勢を整えている中小企業、およびその中小企業を的確に支援した ITC を連名で表彰する。これは、いわば「パートナーシップ表彰」とも言うべきものである。

3. 主催、後援

【主催】特定非営利活動法人 IT コーディネータ協会

【後援】（予定）

- ・ 経済産業省
- ・ 独立行政法人 中小企業基盤整備機構
- ・ 独立行政法人情報処理推進機構（IPA）
- ・ 日本商工会議所
- ・ 全国商工会連合会
- ・ 全国中小企業団体中央会

4. 表彰内容

(1) 表彰内容は、昨年同様、次のとおりである。

（応募状況を踏まえた若干の変更はあり得るので、予めご了承いただきたい。）

a. 賞の種類

- ・最優秀賞：「経産省商務情報政策局長賞」
- ・優秀賞：独立行政法人情報処理推進機構（IPA）理事長賞
- ・優秀賞：ITC 協会会長賞
- ・ITC 協会奨励賞

b. 最優秀賞・優秀賞（IPA 理事長賞）の要件

11月17日（金）の表彰時点までにDX認定を受けていることを必須とする。国のDX認定審査期間を考慮すると、本表彰の応募期限（8月31日（木））の1ヶ月前の7月31日（月）までに国へDX認定の申請を行う必要がある。

※なお前年度上記2賞を受賞したITCは、次年度は同賞授賞対象外とする。

(2) 受賞者は11月17日（金）のITCカンファレンスで表彰する。また、最優秀賞・優秀賞受賞者は、当日、受賞内容のプレゼンテーションを行っていただく。

(3) プレゼン資料は、他の企業・他のITCの範として、協会HP上で公表する。

5. 応募要領

(1) 詳細は後述の通りであるが、応募は、企業からではなく、経営者と対話しながらITCが応募するものとする。

(2) これは次の狙いによるものである。

- a. 本表彰の応募プロセスが、経営者とITCの深い対話を促すきっかけとしたい。
- b. ITCが、自信をもって応募に値すると判断した企業に応募していただく。
- c. 表彰＝DX認定ではないが、継続してITCが支援し、DX認定に持っていけるような素地を整える。

6. 審査

審査は、明治大学経営学部・岡田浩一教授を審査委員長として構成される審査委員会において、厳正かつ公正に行う。（委員は調整中）

ITCA 表彰
審査・応募要項

7. 審査・応募要項

(1) 審査・応募要項は、基本的に経産省／IPA の「DX 認定制度 申請要項」にもとづき、以下の通りとする。

a. 経営ビジョンの策定

「データやデジタル技術を使って顧客視点で新たな価値を創出すること」(経産省 DX 推進指標サマリー)に向けて、ステークホルダーの心に響く経営ビジョン(=何年後かにこういう会社になりたいという将来像)を策定し、取締役会等意思決定機関での承認を得て、公表していること。

なお、経営ビジョンの策定に当たっては、「自信をもってお客様に提供できる価値は何か、そして5年後の価値はどうあるべきか」を深く考え、その価値を最もよく受け取ってもらえる「お客様は誰なのか」を改めて考える。そのように、「価値」と「価値をよく受け取ってもらえるお客様」という2つの視点の間でらせん状に考えを深めていく必要がある。

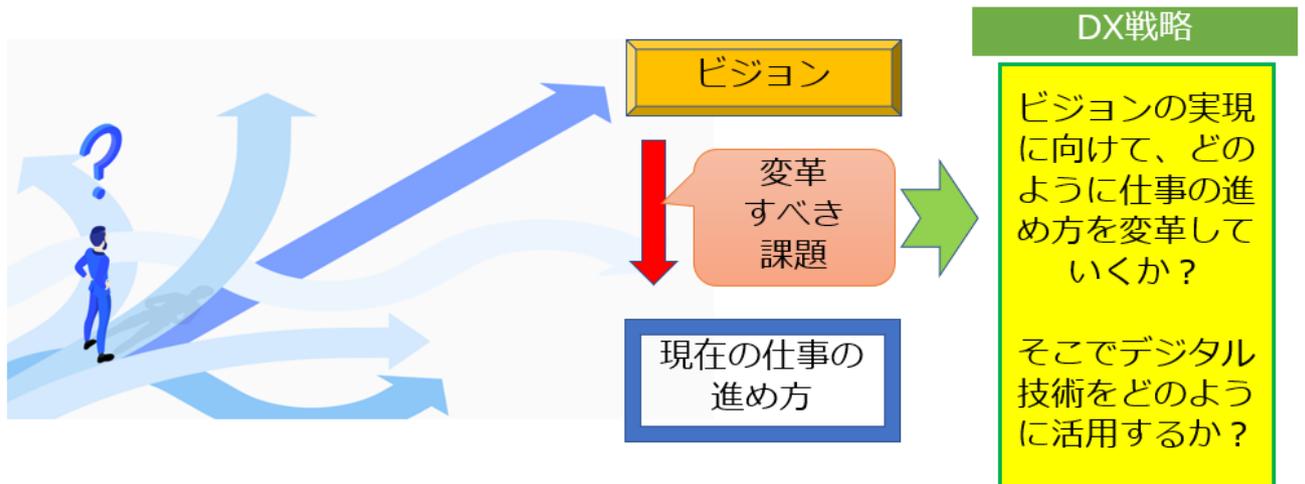
また、パーパス(=企業の存在意義、大義)とビジョンは異なる。パーパスは企業として大事な立脚点であるが、パーパスを原点としつつも、そこから「価値と顧客」を見つめ直して、「何年先にこういう会社になりたい」というビジョンを描いて欲しい。

b. DX 戦略の策定

経営ビジョンにもとづくビジネスモデルを実現するため、データやデジタル技術の活用戦略を策定し、取締役会等意思決定機関での承認を得て、公表していること。戦略には、以下を含む。

- ① デジタル技術を活用する戦略の推進に必要な体制・組織(外部との連携を含む)を構築、及び人材の育成・確保を計画すること。
- ② IT システム・デジタル技術活用環境の整備に向けた方策(売り上げの〇%をIT投資やIT人材育成に当てる等、財務環境の整備を含む)を具体化していること。

【明確なビジョンを描いてこそ DX 戦略をつくることができる】



c. DX 戦略推進管理体制の策定

デジタル技術を活用する戦略の達成度を測る指標を定め、公表していること。

d. 経営者による情報発信

経営ビジョンやデジタル技術活用戦略について、経営者が自ら対外的にメッセージを発信していること。（経営者名でメッセージが発信されている証跡が必要。）

e. 経営者のリーダーシップのもとでのデジタル技術に係る課題把握

経営者のリーダーシップのもとで、デジタル技術に係る動向や自社の IT システムの現状を踏まえた課題の把握が行われていること。（DX 推進指標等による自己診断が行われていることを説明する文書が必要。）

f. 戦略実施の前提としてのサイバーセキュリティ対策

「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」等にもとづき対策を行い、セキュリティ監査（内部監査を含む）を行っていること。（監査実施を証明する説明文書等が必要。）

なお、DX 認定制度では、中小企業の場合は SECURITY ACTION 制度にもとづく自己宣言（二つ星）でも可とされており、そこを目指すことが現実的であると思料する。

g. 中小企業と支援 ITC のよりよいパートナーシップ

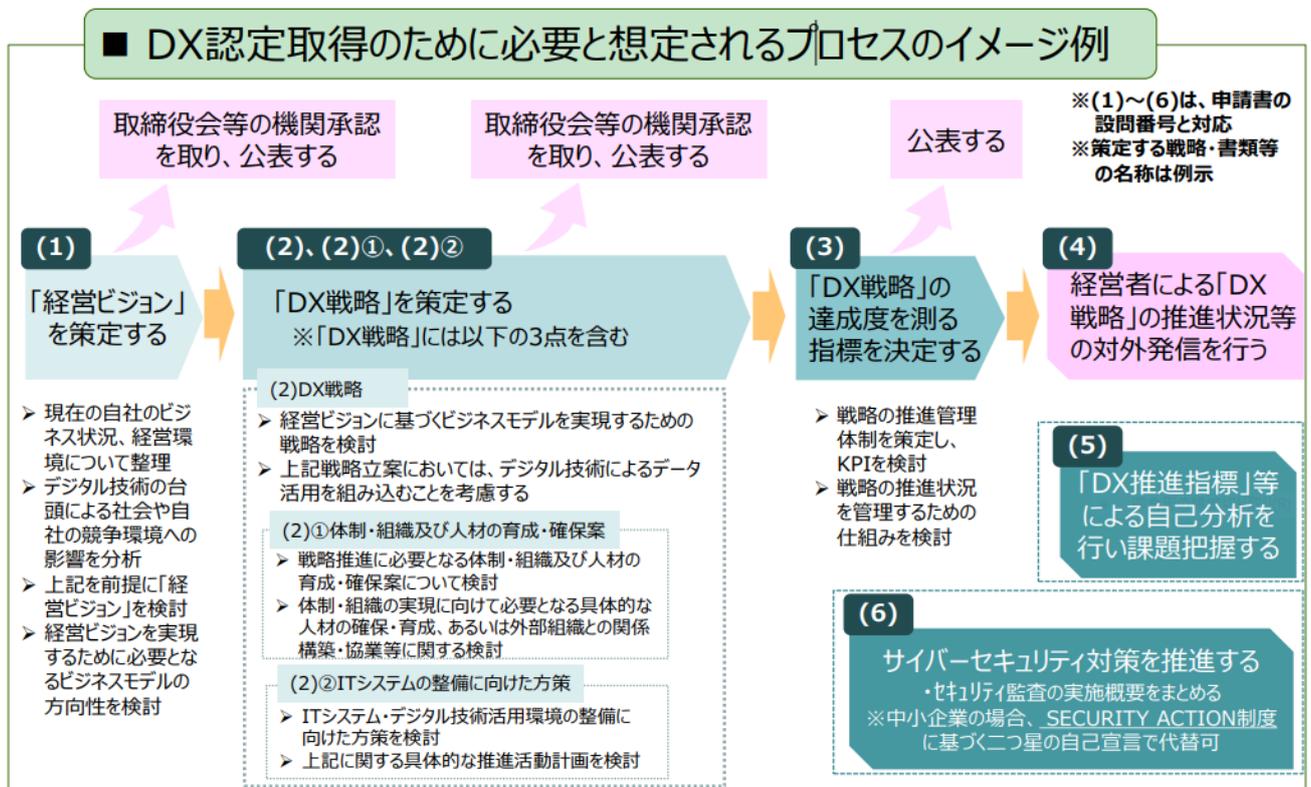
DXの推進に向け、中小企業と支援 ITC が共創し、よりよいパートナーシップを築くこと。(本項の達成に向けて実施した具体的な取組を明記する。)

(2) 申請に当たっての留意点

- a. 最優秀賞、優秀賞 (IPA 理事長賞) の受賞企業は、11 月 17 日の表彰日までに DX 認定を受けることが必須なので、そこを目指す場合は、経産省 / IPA が定めた「DX 認定制度 申請要項」に沿って、申請準備も並行して行い、7 月 31 日 (月) までに DX 認定制度の申請を行うこと。
- b. 応募に当たっては、取り分け「経営ビジョンの策定」「DX 戦略の策定」をどのように進めてきたのかについて、価値創造ストーリーを語っていただきたい。(他の企業、ITC の範となるためには、心に響くストーリーが欠かせない。)

【参考】

応募に当たっては、経産省／IPAが2022年（令和4年）9月13日に出している「DX認定制度 申請要項」およびそのベースとなっている「デジタルガバナンス・コード 2.0」は熟読されたい。「申請要項」23頁にあるフローはわかりやすいので、ここに提示する。



(3) 応募方法および審査手順、ならびに日程

1	応募 4月17日～ 8月31日	「ITコーディネータ協会表彰」のウェブサイトから「応募書類」をダウンロードし、必要事項を記載のうえ、同ウェブサイト上で提出する。最優秀賞、優秀賞（IPA 理事長賞）を目指す場合は、7月31日（月）までにDX認定制度の申請を行うこと。
▽		
2	事務局審査 9月初旬	①事務局で書類の不備等を確認する。 ②質疑応答、追加資料提出をお願いすることがある。 ③申請基準に達しておらず、追加資料の提出等でも改善されない場合は、最終審査に進むことができない。
▽		
3	最終審査 9月中旬～下旬	審査委員会で厳正かつ公平な審査を行う。
▽		
4	結果通知 10月初旬	①審査結果は10月初旬に、受賞ITCに個別に内定通知を行う。（ただし、最優秀賞、優秀賞（IPA 理事長賞）該当者のDX認定制度への審査結果によっては、内定の変更もありうるので、あらかじめご認識おきいただきたい。） ②受賞企業および受賞ITCは11月17日（金）のITCカンファレンス表彰式への出席、および最優秀賞・優秀賞受賞者はプレゼンテーションを準備願う。（表彰式は十分に感染予防対策をしたうえリアルで行うことを予定している。）
▽		

5	表彰式 11月17日	<p>① 表彰式では、最優秀賞・優秀賞受賞企業および受賞 ITC からプレゼンテーションを行っていただきたい。時間は20分を目安とする。</p> <p>② 出席に要する交通費は、企業代表者2名および支援 ITC1名を協会で負担する。</p>
---	---------------	--